

《令和7年度 茨城支部ニューズレター 第1号》

【茨城支部総会】

2025年度茨城支部総会は、出席者51名、委任状32名の計83名で、成立しました。成立要件は、出席者と委任状提出者の合計数が支部正会員102名の半数51名を超えることです。（茨城支部規約第9条第3項）

下記の議事について協議を行い、承認されました。承認後の議事資料は、茨城支部HPに掲載されています。

- 1 2024年度 活動報告
- 2 2024年度 会計報告
- 3 2025年度 活動計画案
- 4 2025年度 予算案
- 5 士会本部・茨城支部役員選出

【第1回資格更新研修会】

- 1 日時：令和7年5月11日(日) 13:40～16:50
- 2 場所：茨城県県南生涯学習センター（ウララビル5階）中講座室2
- 3 参加者：茨城支部正会員53名
- 4 テーマ：「WISC-Vによる具体的支援～ケースにどう対応するか～」
- 5 講師：大六一志先生

6 内容

2つの仮想事例について各自で検討後、5～6人のグループで意見交換を行いました。演習で行ったこと

- ①主訴の定式化
- ②検査結果の解釈
- ③具体的な指導・支援について

(1)事例1

知的水準は高いが学業不振の子（現小学校5年 男子 通級指導教室利用）

実施した検査：WISC-V、LCSA

知的水準は高いが、言語能力が弱いため、公立小学校ではテストで得点できず、真の実力を評価される機会がなかった。

(2)事例2

集中が持続しない読み書きが困難な子（現小学校2年 男子 通常の学級）

実施した検査：WISC-V、STRAW-R、Rey 複雑図形

読み書きや計算が困難であるという主訴であったが、実際には全体的な知的発達に遅れがあり、読み書きや計算は能力相応であった。

グループ演習では、活発な意見交換が行われ、解釈や指導・支援について他者の意見を知ることができました。

また、演習後には、大六先生から事例ごとに解説をいただき、教育において発達特性や発達水準を考慮することの重要性が強調され、心理士としての知見を広げる有意義な機会となりました。

◆次回の研修会の予定について

令和7年度 第2回資格更新研修会・公開講座

日時：2026年2月7日(土) 13:30～16:40

会場：つくば国際会議場（エポカル） 中会議室 406

参加費：無料（資料代500円）

テーマ：オープンダイアログによる対話技法の理解と心理職としての支援のあり方(仮)

講師：斎藤 環先生(精神科医・元筑波大学教授)

対象：公開講座 100名

(文責 松本一恵)